国土交通省 関東地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau

平成２２年５月１４日（金）
国土交通省関東地方整備局
甲府河川国道事務所

記者発表資料

甲府河川国道事務所　平成２２年度事業概要

河川事業

平成２２年度は約１７．１５億円で事業を実施します。

・富士市 雁堤（かりがねつつみ） 地区の環境整備事業の調査を新規に着手します。
・富士川町（ふじかわちょう） 増穂（ますほ）地区の河川防災ステーションの盛土工事を継続します。
・身延町（みのぶちょう） 大野（おおの）地区の築堤護岸を継続します。

道路事業

平成２２年度は約１１４．９９億円で事業を実施します。

・ 中部横断自動車道（ちゅうぶおうだんじどうしゃどう）の醍醐山（だいごやま）トンネルを本格掘進します。
・ 国道１３９号　都留（つる）バイパスが一部区間(3.2km)開通の予定です。
・ 国道２０号　竜王（りゅうおう）拡幅が一部区間(0.8km)４車線開通の予定です。
・ 国道２０号　大月（おおつき）バイパスの暫定開通区間を線形改良し完成形にする予定です。

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ　神奈川建設記者会　山梨県政記者クラブ　静岡県政記者クラブ

問い合わせ先		
国土交通省関東地方整備局　甲府河川国道事務所		
地域広報官（副所長：河川）	堀口　智（ほりぐち　あきら）	TEL 055-252-5493
工務第一課長	植松　福一（うえまつ　よしかず）	TEL 055-252-8880
地域広報官（副所長：道路）	上原　重賢（うえはら　しげよし）	TEL 055-252-5493
工務第二課長	小池　信一（こいけ　しんいち）	TEL 055-252-8882

目　　次

【河川事業】

平成２２年度の事業の概要（河川事業）　・・・　３
事業費（河川）　・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
富士市雁堤地区環境整備　・・・・・・・・・・・・　６
増穂地区河川防災ステーション　・・・・・・・・・　７
身延町大野地区改修　・・・・・・・・・・・・・・・　８

【道路事業】

平成２２年度の事業の概要（道路事業）　・・・　９
事業費（道路）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
中部横断自動車道（富沢～六郷）　・・・・・・・１５
国道２０号　大月バイパス　・・・・・・・・・・・１６
国道２０号　竜王拡幅　・・・・・・・・・・・・・１７
国道２０号　新山梨環状道路（北部区間）　・・１８
国道２０号　山梨２０号防災　・・・・・・・・・・１９
国道５２号　上石田改良　・・・・・・・・・・・・２０
国道５２号　山梨５２号防災　・・・・・・・・・・２１
国道１３９号　都留バイパス　・・・・・・・・・・２２
国道２０号　牧原交差点改良　・・・・・・・・・・２３
国道２０号　笛吹・甲府電線共同溝　・・・・・・２４

平成２２年度の事業の概要（河川事業）

Ⅰ．平成２２年度予算

平成２２年度の河川事業は約１７．１５億円で実施します。

Ⅱ．Ｈ２２年度予算のポイント

■河川事業

甲府河川国道事務所は、富士川及び釜無川、笛吹川等を合わせて１２２．１㎞を管理しています。

近年頻発している集中豪雨等を踏まえ、護岸対策などの治水対策や災害時に迅速な活動を可能にするための防災拠点を計画的に整備していきます。

さらに、ハザードマップ作成の支援等、防災・減災対策を進め、安全安心に暮らせる地域の実現を図ります。

また、地域との連携による、快適で良好な水辺環境の創出を推進します。

事業の予定

・富士市雁堤地区環境整備

富士市雁堤地区で、環境整備事業として検討を行います。（同市との連携事業）

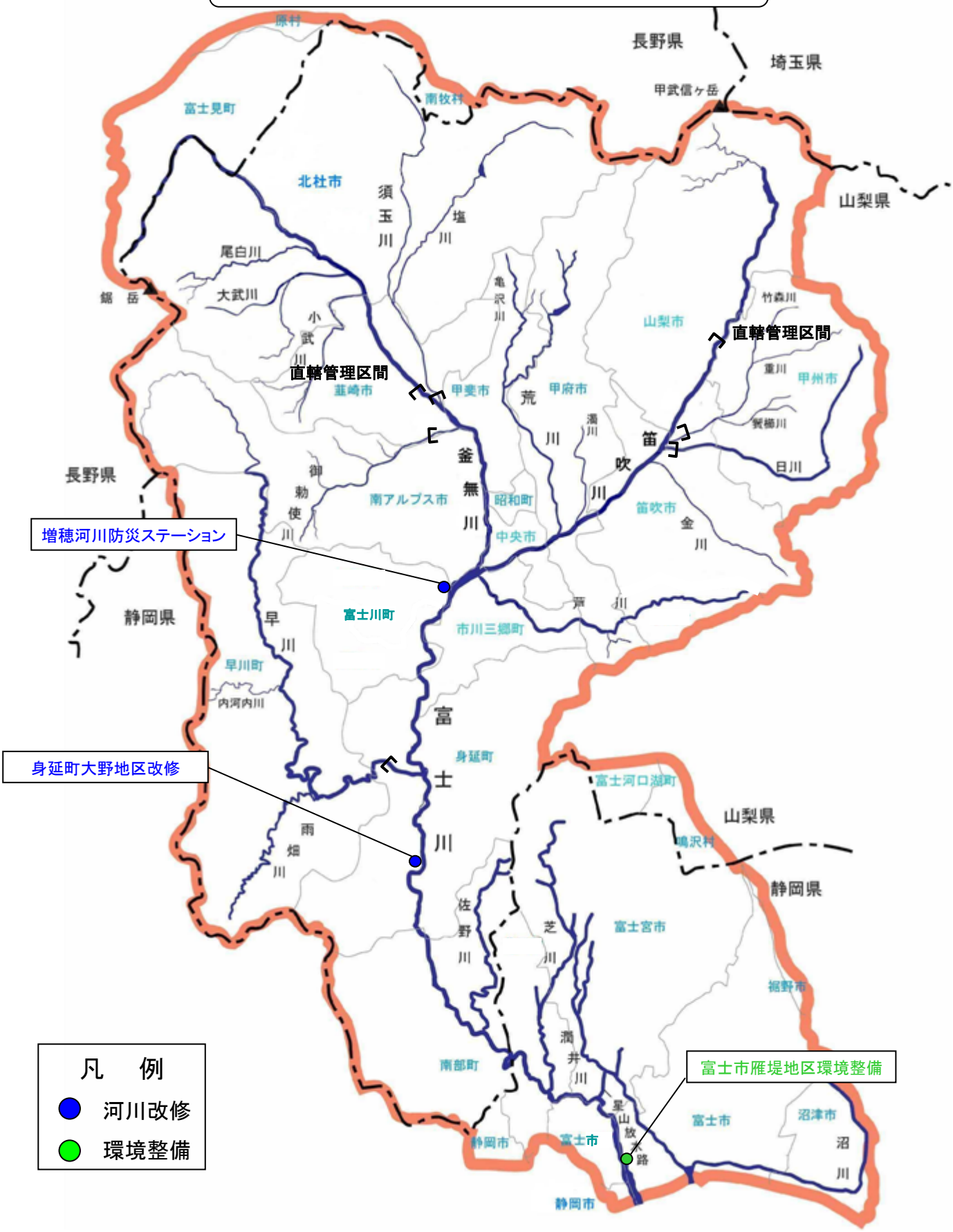
・増穂地区河川防災ステーション

洪水時における水防活動や、破堤等の重大災害が発生した場合の復旧活動、また地震時等の復興支援の拠点となる増穂地区防災ステーションの盛土工事を継続実施します。また、整備機材の整備を行います。

・身延町大野地区改修

無堤部であり、流下能力が不足している身延町大野地区周辺の改修を促進するため、築堤護岸を継続します。

平成22年度　河川事業概要



平成22年度　甲府河川国道事務所　事業費（河川）

（単位：百万円）

事　業　名		事業費
河川改修費	増穂防災ST、大野地区築堤護岸他	686
河川維持費	富士川の維持管理	823
河川管理施設更新費	護岸補修、排水機場補修他	186
総合水系環境整備事業費	雁堤地区環境整備事業	20
合　計		1,715

※上記のほか、業務取扱費等がある。

ふじしかりがねづつみちくかんきょうせいび

富士市雁堤地区環境整備

H22年度事業費： 0．2億円

富士市（ふじし）

1．事業の概要

静岡県富士市雁堤地区は、広大な礫河原が広がる自然豊かな河川景観となっている。左岸側の「雁堤」は富士川を代表する歴史的治水施設であり、伝統行事の「かりがね祭り」が毎年行われるなど、地域住民に親しまれている箇所です。

平成20年11月に富士川町・富士市が富士川を挟んで合併し、(新)富士市では、当該地区を「富士川ふれあいエリア」と位置づけ、雁堤の歴史・文化を学び、自然豊かな憩いの場として利用推進する予定です。

このことから、当該地区の低水護岸及び管理用通路の整備にあたっては、治水面に加え環境にも配慮した整備を行います。

2．平成22年度の予定

平成22年度は、実施設計を実施する予定です。

3．期待される整備効果

富士川の水衝部対策としての護岸整備や、河川管理施設としての管理用通路の整備を周辺環境にも配慮する事により、治水的効果の向上と相まって、河川環境の向上も図られます。

位置図

斜め写真

増穂地区河川防災ステーション

Ｈ２２事業費：４．２４億円

南巨摩郡富士川町

1．事業の必要性及び概要

増穂地区河川防災ステーションは、富士川において堤防の決壊等の重大災害が発生した場合に、水防活動の拠点として整備を行うものです。当該箇所は、中部横断自動車道ICや国道52号に隣接する交通接点であるため、水防活動時ばかりでなく、地震時の復興支援としても活用できます。また、富士川町の「道の駅」とも連携して整備を進めます。

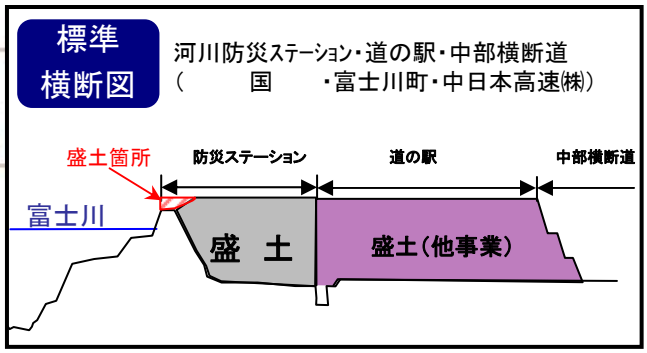
【全体計画】
事業箇所：山梨県南巨摩郡富士川町
事業内容：盛土約16万m3、水防資機材整備　1式
全体工期：平成17年度～

2．平成22年度の予定

平成22年度は、平成21年度に引き続き、盛土工事を行います。また、水防資機材の整備を行います。

3．期待される整備効果

効率的かつ迅速な災害対応を行うための備えができます。



みのぶちょう　おおの　ち　く かいしゅう
身延町大野地区改修

Ｈ２２事業費：２．６２億円

みなみこまぐんみのぶちょう
南巨摩郡身延町

１．事業の必要性及び概要

同地区には病院等の施設があり、山間狭窄部のため、周辺の国道・県道が降雨に伴う雨量規制により、陸の孤島となるため、水防活動等が実施困難になります。

同地区の堤防は、重要水防Aランクで無堤区間になっているため、平成13年度に事業着手し、浸水被害解消のため築堤護岸等の改修事業を実施します。

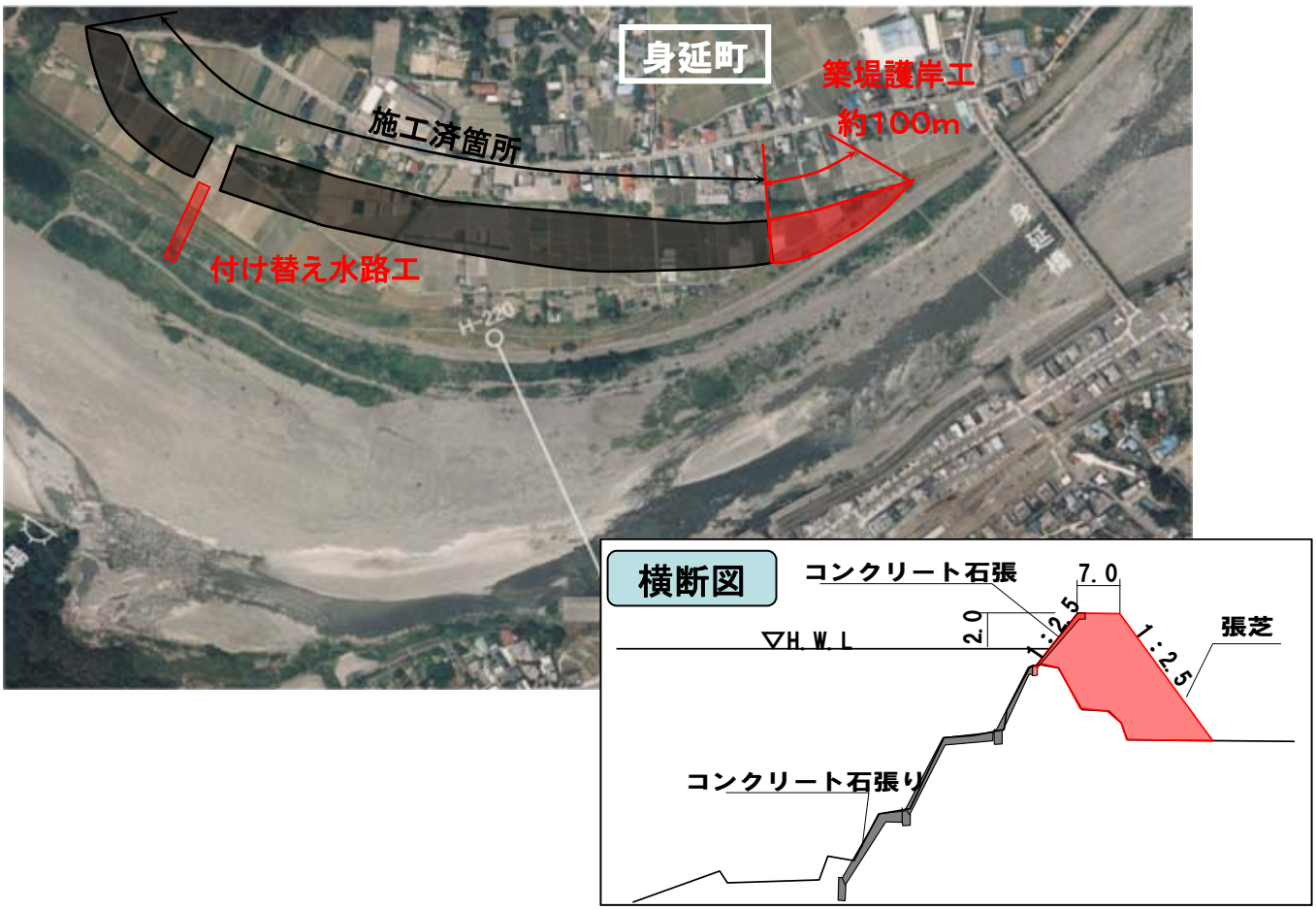
【全体計画】
事業箇所：山梨県南巨摩郡身延町
事業内容：築堤護岸L＝1，040m、樋管1箇所、水路付替L＝190m
全体工期：平成13年度～

２．平成22年度の予定

平成22年度は、平成21年度に引き続き、築堤護岸工事を実施します。また、堤外水路工を実施します。

３．期待される整備効果

無堤部を解消する築堤護岸の実施により、浸水被害の軽減が図られます。



平成２２年度の事業の概要（道路事業）

Ⅰ．平成２２年度予算

平成２２年度の道路事業は約１１４．９９億円で実施します。

Ⅱ．平成２２年度予算のポイント

■道路事業

甲府河川国道事務所では、山梨県の国道２０号、５２号、１３８号、１３９号の４路線、延長約２５５ｋｍにおいて、維持管理、バイパス整備、道路拡幅、交通安全対策、電線共同溝整備を進めています。

バイパス整備事業の国道１３９号都留バイパスについては今年度一部完成予定、交通安全対策として実施している牧原交差点については今年度完成予定です。

平成１７年度からは新直轄※として中部横断自動車道（富沢～六郷）の整備を進めています。平成２０年度は南部町地区、平成２１年度には身延町地区及び市川三郷町地区で工事着手しております。今年度は醍醐山トンネルの本格掘削を開始します。また田中川橋橋梁工事等、引き続き工事を実施する予定です。

（※）高速道路株式会社による整備や管理が難しいと判断された高速道路について、国土交通省が整備や管理を行うもの。

改築事業の予定

幹線道路網整備により周辺道路交通の円滑化、安全かつ安定的物流ルートの確保、沿線都市間の連絡強化を図ります。

沿道環境の改善、歩行者の安全の確保を図るため、現道拡幅やバイパスの整備を引き続き実施します。

◆事業予定

・中部横断自動車道（富沢～六郷）

醍醐山トンネルの本格掘削を開始します。また、田中川橋、田原川橋下部工事、船山川上部工事、根岸川橋上部工事等、道路設計、環境調査、埋蔵文化財調査（資料整理）、用地買収を実施します。

・新山梨環状道路（北部区間）

環境影響評価準備書の作成、都市計画決定に向けた手続き、道路設計、環境調査を実施します。

・国道２０号　大月バイパス（大月市）

桂川橋仮橋設置工事等、道路設計、用地買収を実施します。

暫定開通していた大月市御太刀地先の約０．２ｋｍの区間についても完成する予定です。

・国道２０号　竜王拡幅（甲斐市・韮崎市）

甲斐地区道路改良舗装工事等、道路設計を実施します。

年度早々の地元調整により、韮崎市栄地先の約０．８ｋｍの区間について４車線化が完成する予定です。

・国道５２号　上石田改良（甲府市）

荒川橋下部工事、既設橋下部撤去工事等、道路設計、用地買収を実施します。

・国道１３９号　都留バイパス（都留市）

井倉地区改良舗装工事等、道路設計、用地買収を実施します。

都留市法能から都留市井倉までの延長３．２ｋｍの区間について完成する予定です。

交通安全対策事業の予定

（１）交差点改良を実施

交通事故データ等の分析により地域の事故特性や課題を抽出し重点的に対策を実施します。

◆主な事業

・国道２０号　牧原（まきのはら）交差点（北杜市）
・国道２０号　国母（こくぼ）交差点（甲府市）
・国道５２号　竜王（りゅうおう）駅前交差点（甲斐市）
・国道１３９号　天神山（てんじんやま）入口交差点（鳴沢村）　他４箇所

※牧原（まきのはら）交差点については、右折車両の急な減速に起因する追突事故が多発していることから、今年度工事において右折レーンを設置し対策の完了を予定しています。

（２）通学路への歩道設置を実施

児童や歩行者の安全な通行を図ることから、通学路を重点的に歩道設置していきます。

◆主な事業箇所

・国道１３９号　上暮地（かみくれち）歩道設置（富士吉田市）延長 1.1㎞　他２箇所

道路防災事業の予定

（１）法面崩落対策や落石対策などの防災対策を実施

災害による人命、交通、産業等への被害は社会的経済的影響が極めて大きく、安全な道路交通の確保を図る必要から、法面崩落対策や落石対策などの対策工を実施します。

◆主な事業箇所

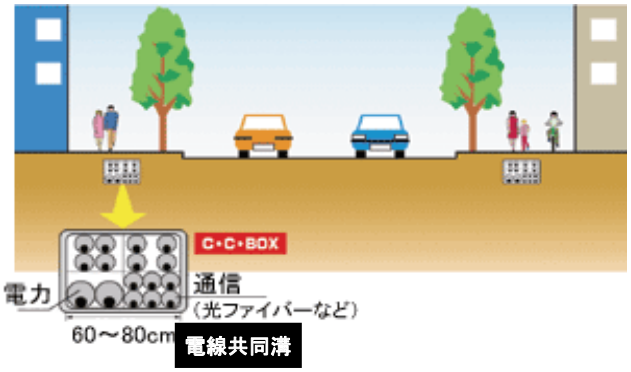
・国道２０号　綱ノ上（つなのうえ）防災（大月市）
・国道５２号　古屋敷（ふるやしき）防災（身延町）

電線共同溝事業の予定

電線共同溝の整備により無電柱化を図り安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上を図ります。

◆主な事業箇所

・国道２０号　笛吹甲府電線共同溝（笛吹市・甲府市）　他　１箇所



【電線共同溝のイメージ】

維持管理の予定

甲府河川国道事務所では山梨県の国道２０号、５２号、１３８号、１３９号の４路線、延長約２５５ｋｍを管理しており、道路を安全に利用していただくため、パトロールカーによる道路巡回をはじめ、道路清掃作業、冬期においては除雪作業を実施します。

また、大規模地震被災時における緊急輸送路を確保するための耐震補強工事や高齢化する道路ストックが増大することを踏まえ、大規模な修繕が必要となる前に予防的な対策により長寿命化を図る補修工事を実施します。

（道路巡回）

（除雪作業）

（道路清掃作業）

◆主な事業

・橋梁耐震対策　　国道２０号　疾風橋耐震補強（甲府市）

・橋梁補修　　国道２０号　勝沼大橋橋梁補修（甲州市）　他

・トンネル補修　　国道２０号　新笹子トンネル（大月市～甲州市）

平成２２年度　道路事業概要

平成22年度　甲府河川国道事務所　事業費（道路）

（単位：百万円）

事　業　名		事業費
改築事業		6,416
	中部横断自動車道（富沢～六郷）	4,437
	国道20号　大月バイパス	600
	国道20号　竜王拡幅	489
	国道20号　新山梨環状道路（北部区間）	75
	国道20号　山梨20号防災	28
	国道52号　上石田改良	389
	国道52号　山梨52号防災	148
	国道139号 都留バイパス	250
交通安全事業	国道20号　牧原交差点改良　他10箇所	1,740
電線共同溝事業	国道20号　笛吹・甲府電線共同溝　他1箇所	309
維持管理	国道20号、52号、138号、139号の維持管理	3,034
合　計		11,499

※上記のほか、調査費、業務取扱費等がある。

中部横断自動車道（富沢～六郷）

平成２２年度事業費：４４．３７億円

南部町・身延町・市川三郷町

１．事業の必要性及び概要

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を経由し長野県小諸市に至る延長１３２ｋｍの高速自動車国道です。本道路は、太平洋及び日本海の臨海地域と山梨・長野県との連携を深め、国道５２号の代替路となる防災に強いネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発等、沿線地域の産業経済の振興に寄与することが期待されます。

なお、山梨県区間の(仮称)富沢ＩＣ～(仮称)六郷ＩＣの２８ｋｍについては、平成１７年度より直轄事業として事業を進めています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県南巨摩郡南部町～山梨県西八代郡市川三郷町
延　　長：２８ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等
全 体 工 期：平成１７年度～

２．平成２２年度の予定

平成２１年度は、調査設計、用地買収、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を実施しました。

引き続き、平成２２年度は、田中川橋、田原川橋下部工事、船山川上部工事、根岸川橋上部工事等、道路設計、環境調査、埋蔵文化財調査（資料整理）、用地買収を実施予定です。

３．期待される整備効果

脆弱な幹線道路である国道５２号の代替路を確保します。

また、医療等沿道地域の生活改善や、観光の多様化などへの支援、大規模災害時の緊急輸送路の確保、広域的な物流効率化を支援します。

４．位置図及び概要図

醍醐山トンネル工事

国道２０号　大月バイパス

平成２２年度事業費：６．００億円

大月市

１．事業の必要性及び概要

大月バイパスは、大月市内の市街地の混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、大月市駒橋から大月市大月町花咲に至る延長３．２kmのバイパス整備事業です。

平成１９年度までに大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間の延長１．７ｋｍが暫定形で開通しています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県大月市駒橋～山梨県大月市大月町花咲

延　　長：３．２ｋｍ

事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等

全 体 工 期：昭和４８年度～

２．平成２２年度の予定

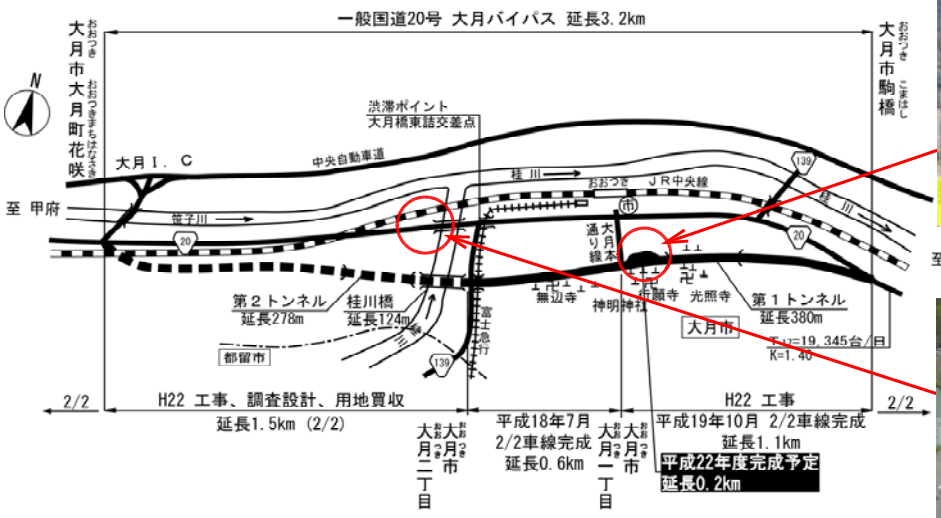
平成２１年度は、改良工事、調査設計、用地買収を実施しました。平成２２年度は、引き続き、桂川橋仮橋設置工事等、調査設計、用地買収を実施する予定です。

また、大月市御太刀地先の暫定供用していた約０．２ｋｍ区間についても完成する予定です。

３．期待される整備効果

大月バイパスが完成することにより、大月市中心部を通過するだけの交通の排除などにより交通渋滞の緩和が図られます。また、すでに開通している大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間では、大月橋東詰交差点における渋滞緩和や現道の走行速度の向上、通学路などの裏道交通量の減少による安全性の向上などの効果が見られます。

４．位置図及び概要図



至 東京　大月市御太刀地先

大月橋付近

国道２０号　竜王拡幅

平成２２年度事業費：４．８９億円

甲斐市・韮崎市

１．事業の必要性及び概要

国道２０号竜王拡幅は、甲斐市竜王～韮崎市内にかけての交通安全対策及び交通渋滞緩和を目的とした道路拡幅事業で、平成１７年度に甲斐市下今井～甲斐市宇津谷間の延長１．５ｋｍが開通しました。

また、平成２０年度には、甲斐市竜王地先の延長１．７ｋｍ、甲斐市宇津谷～韮崎市栄二丁目間の延長１．０ｋｍが開通しました。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲斐市竜王～山梨県韮崎市栄一丁目
延　　長：６．７ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等
全 体 工 期：平成８年度～

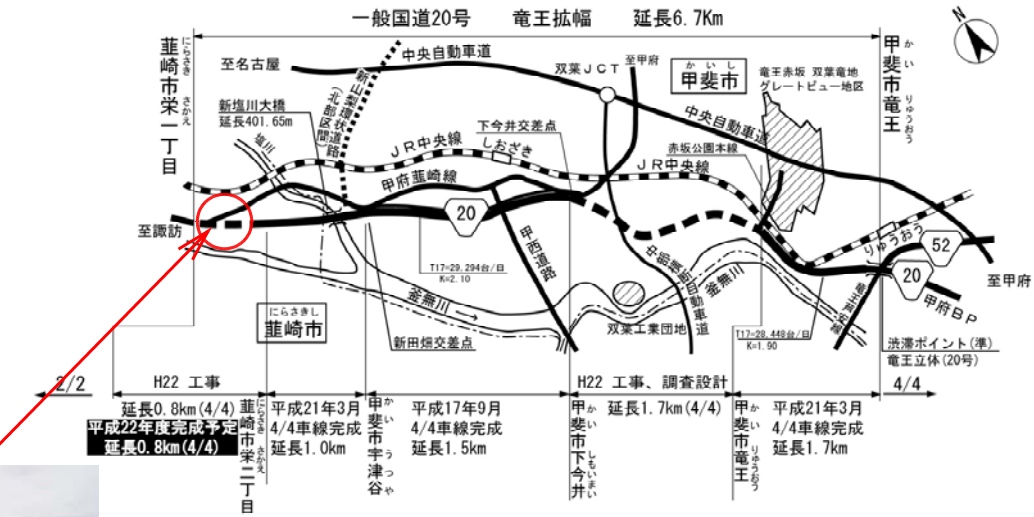
２．平成２２年度の予定

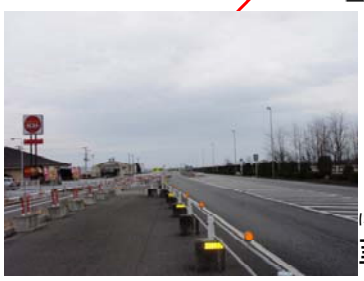
平成２１年度は、改良工事、舗装工事、調査設計、用地買収を実施しました。引き続き、平成２２年度は、甲斐地区道路改良舗装工事等、道路設計を実施予定です。また、年度早々の地元調整により韮崎市栄二丁目～同市栄一丁目の延長約０．８ｋｍについて、完成予定です。

３．期待される整備効果

竜王拡幅が完成することにより、車線数増加による国道２０号の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や歩道設置による交通安全の確保が図られます。

４．位置図及び概要図





韮崎市栄地先

国道２０号　新山梨環状道路（北部区間）

平成２２年度事業費：０．７５億円

甲斐市

１．事業の必要性及び概要

新山梨環状道路（北部区間）は、甲府中心市街地から半径およそ５km～７kmの位置に計画された総延長約４０ｋｍの環状道路の一部をなす道路で、国道２０号のバイパスとして中央自動車道、西関東連絡道路と一体となり、甲府圏域内の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や、特に渋滞の激しい国道20号や（主）甲府韮崎線の機能回復を図る重要な役割を担っています。

〇全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲斐市牛句～山梨県甲斐市宇津谷
延　　長：約５ｋｍ
事 業 内 容：調査設計
全 体 工 期：平成１６年度～

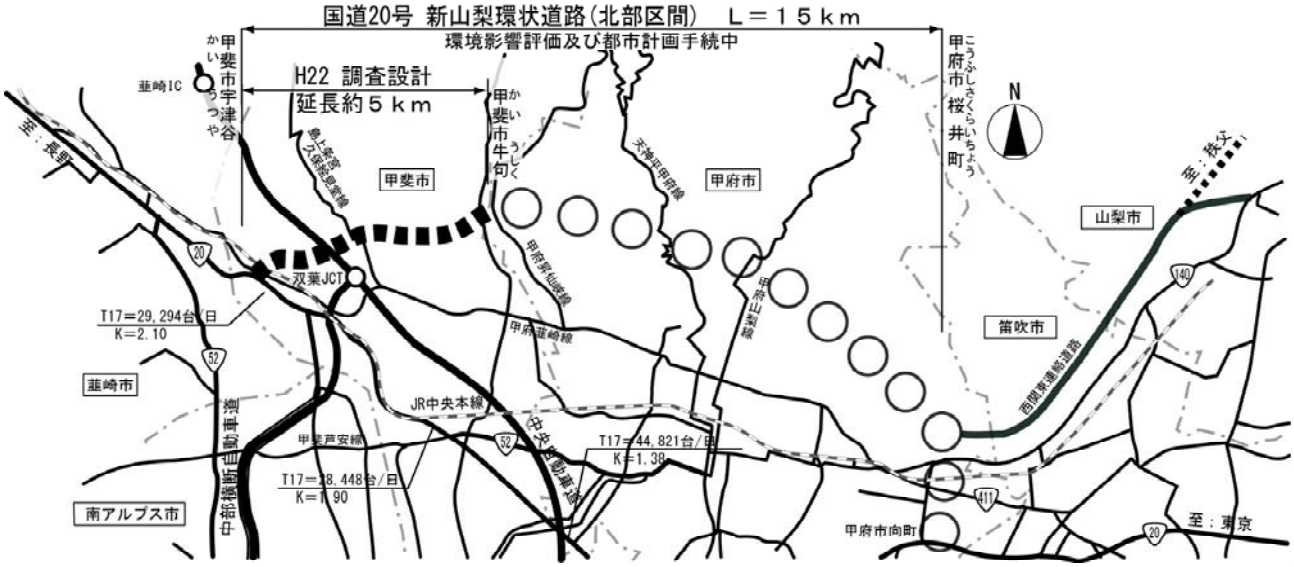
２．平成２２年度の予定

平成２１年度は、都市計画の素案説明を実施しました。平成２２年度は、引き続き、環境影響評価準備書の作成、都市計画決定に向けた手続き、道路設計、環境調査を実施予定です。

３．期待される整備効果

新山梨環状道路（北部区間）が完成することにより、甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の適切な分散により、国道20号や（主）甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和が図られます。

４．位置図及び概要図



国道２０号　山梨２０号防災

平成２２年度事業費：０．２８億円

大月市・甲州市

１．事業の必要性及び概要

国道２０号山梨２０号防災は、国道２０号における大月市から甲州市に至る区間の事前通行規制区間の緩和等を目的とした道路防災事業です。

平成１６年度には綱ノ上地区の洞門、平成１９年度には初鹿野（Ⅱ）地区の洞門が完成しました。

○全体計画

事業箇所：山梨県大月市梁川町綱ノ上～甲州市大和町初鹿野

延　　長：３５．３ｋｍ（対策実施箇所　延長0.7km）

事業内容：防災工事

全体工期：昭和６３年度～

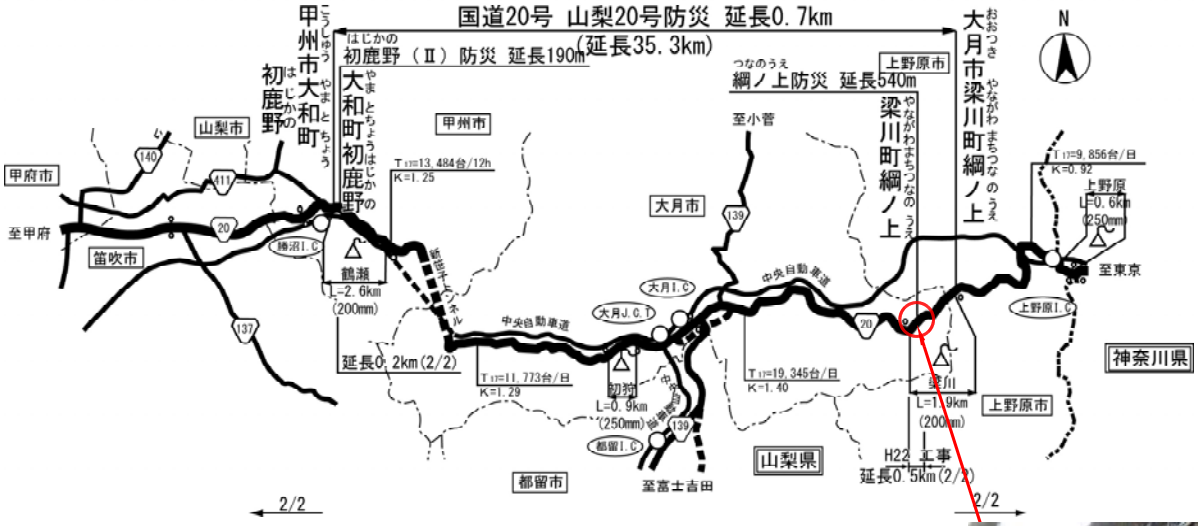
２．平成２２年度の予定

平成２１年度は法面防災工事、用地買収を実施しました。平成２２年度も引き続き、法面防災工事、防災設計、用地買収を実施予定です。

３．期待される整備効果

防災工事が完成することにより、事前雨量通行規制区間の解消がされ、通行安全性が向上します。

４．位置図及び概要図



補強土壁

国道５２号　上石田改良

平成２２年度事業費：３．８９億円

甲府市

１．事業の必要性及び概要

国道５２号上石田改良は、甲府市街地の交通混雑の緩和、道路線形の改良による交通安全の確保を目的とした、甲府市富竹一丁目から甲府市寿町に至る道路拡幅事業です。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県甲府市富竹一丁目～山梨県甲府市寿　町
延　　長：１．０ｋｍ
事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等
全 体 工 期：平成８年度～

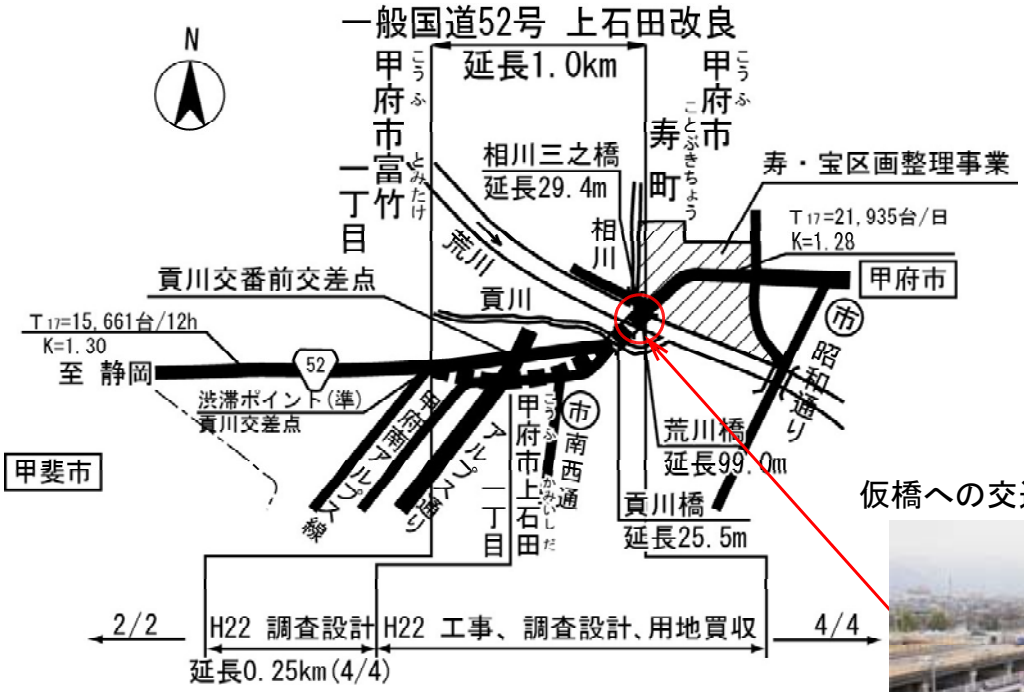
２．平成２２年度の予定

平成２１年度は、改良工事と橋梁工事、調査設計、用地買収を実施しました。平成２２年度は、荒川橋下部工事、既設橋下部撤去工事等、道路設計、用地買収を実施予定です。

３．期待される整備効果

上石田改良が完成することにより、線形の悪い箇所の改善や右折レーンの設置、歩道設置等による交通安全の確保や慢性的な交通渋滞の緩和が図られます。

４．位置図及び概要図



仮橋への交通切り廻し状況

国道５２号　　山梨５２号防災

平成２２年度事業費：１．４８億円

身延町

１．事業の必要性及び概要

国道５２号山梨５２号防災は、国道５２号における雨量による事前通行規制区間の緩和等を目的とした道路防災事業です。

平成４年度に万沢地区、平成１２年度に清水端地区、平成１５年度に相又地区、平成１６年度に西島地区、平成１８年度に切久保地区の防災工事が完了しました。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県 南 巨摩郡南部 町 境 川～ 南 巨摩郡富士川 町 鰍 沢

延　　長：４９．７ｋｍ(実施箇所延長3.1km)

事 業 内 容：防災工事

全 体 工 期：昭和６２年度～

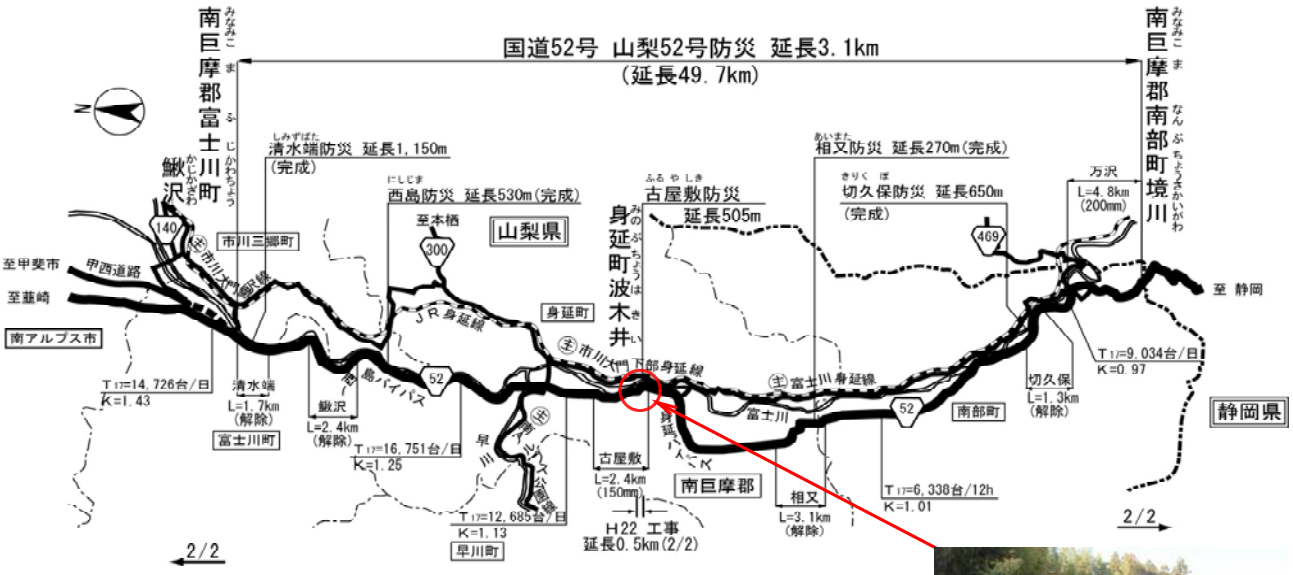
２．平成２２年度の予定

平成２１年度は法面防災工事、用地買収を実施しました。平成２２年度も引き続き、法面防災工事、防災設計、用地買収を実施予定です。

３．期待される整備効果

防災工事が完成することにより、事前雨量通行規制区間の解消がされ、通行安全性が向上します。

４．位置図及び概要図



法面対策(山側)

国道１３９号　都留バイパス

平成２２年度事業費：２．５０億円

都留市

１．事業の必要性及び概要

国道１３９号都留バイパスは、都留市内の狭小区間の交通混雑の緩和、交通安全の確保を図る事を目的とした、都留市十日市場から都留市田野倉に至る延長約８．０kmのバイパス事業です。

平成５年度までに、（主）都留道志線から（県）戸沢谷村線までの延長２．４ｋｍが開通しています。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県都留市十日市場～山梨県都留市田野倉

延　　長：８．０ｋｍ

事 業 内 容：調査設計・用地買収・道路改良工事等

全 体 工 期：昭和４９年度～

２．平成２２年度の予定

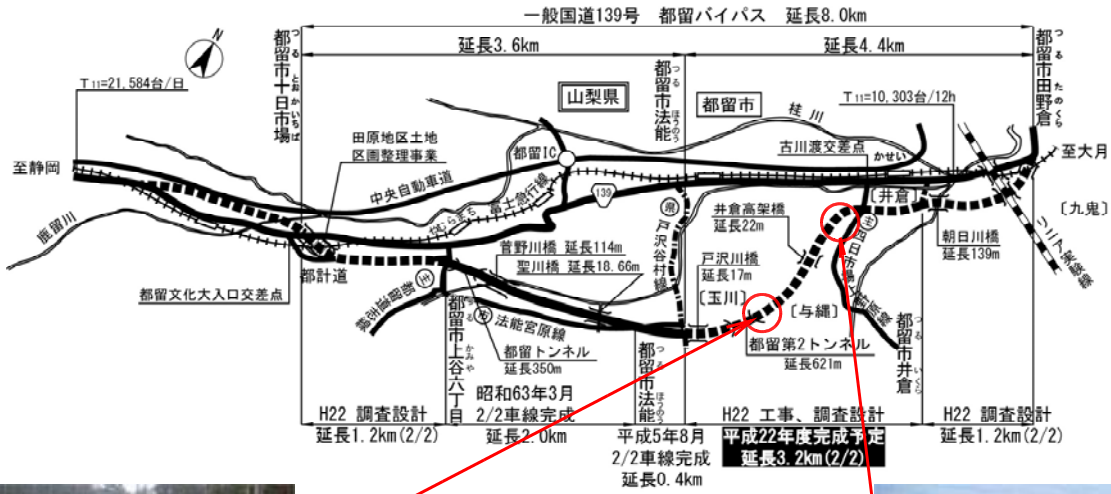
平成２１年度は、改良工事、橋梁工事、調査設計、用地買収を実施しました。平成２２年度は、井倉地区改良舗装工事等、調査設計、用地買収を実施予定です。

また、都留市法能から都留市井倉までの延長約３．２ｋｍについて完成予定です。

３．期待される整備効果

都留バイパスが完成することにより、現道の狭小区間の交通渋滞緩和を図り、歩道未設置区間の通行安全性の向上が図られます。

４．位置図及び概要図



都留第二トンネル付近

井倉地区改良工事

国道２０号　牧原（まきのはら）交差点改良

平成２２年度事業費：１．７１億円

北杜市（ほくとし）

１．事業の必要性及び概要

当該交差点は、一般国道２０号と、県道横手日野春停車場線との交差点で、見える化箇所に設定されています。当該交差点は家屋が隣接し、隅切不足により大型車の県道への右左折が困難です。事故類型は追突事故が多く、右折車両の急な減速に起因するものと考えられるため、右折レーンを設置し事故減少を図ます。

○全体計画

事 業 箇 所：山梨県北杜市武川町牧原地先（やまなしけんほくとしむかわちょうまきのはら）

箇　　所：１箇所

事 業 内 容：交差点改良

全 体 工 期：平成１４年度～

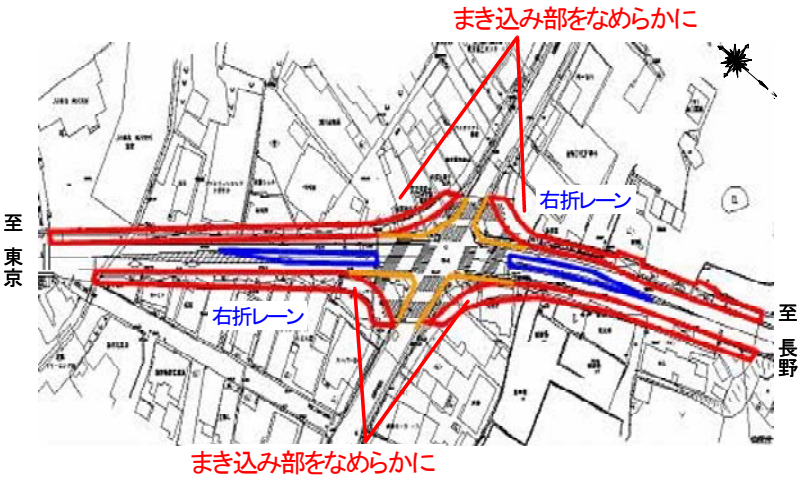
２．平成２２年度の予定

工事実施、今年度完成予定です。

３．期待される整備効果

右折レーン設置による追突事故の減少と歩行者による歩行者事故の削減。

４．位置図及び概要図



上り線（長野→東京）

上り線（東京→長野）

国道２０号　笛吹・甲府電線共同溝

平成２２年度事業費：２．７４億円

笛吹市

１．事業の必要性及び概要

笛吹・甲府電線共同溝は、商業施設等が立ち並ぶ地区において、電線共同溝の整備により無電柱化を図り安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上を図るものです。

〇全体計画

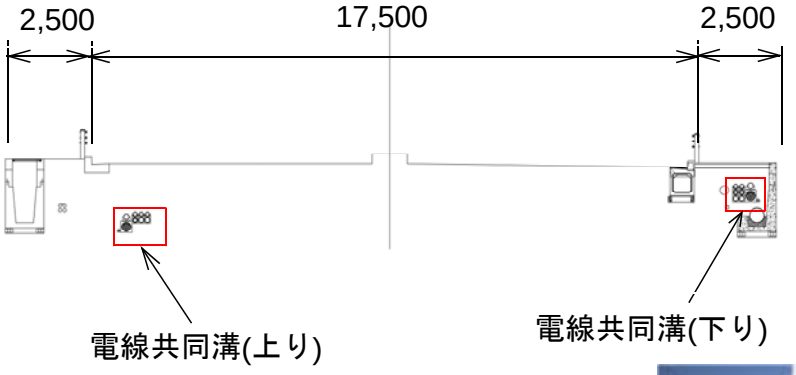
事業区間　：　山梨県笛吹市石和町四日市場～甲府市上阿原町
延　　長　：　３．７０km（道路延長　１．８０km）
事業内容　：　電線共同溝工事
全体工期　：　平成１９年度～

２．平成２２年度の予定

石和町四日市場～甲府市上阿原区間の下り線及び上り線（一部）にて、引き続き電線共同溝本体工事を実施予定です。

３．期待される効果

電線共同溝の整備により、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上などの効果を図ります。

４．概要図

【断面図】